

年金からの特別徴収における
情報交換媒体作成仕様書

(国保連合会－市町村間)

平成19年5月

目 次

	頁
第1 基本的事項	
1. 1 目的	1
1. 2 規定にあたっての基本的な考え方	1
1. 3 用語の定義	1
第2 具体的事項	
2. 1 磁気媒体・伝送関係	2
2. 1. 1 磁気媒体別ファイルの種類	2
2. 1. 2 規定事項	3
(1) ハード仕様	3
(2) ソフト仕様	4
2. 2 コード関係	20
2. 2. 1 コードの種類	20
2. 2. 2 コード仕様	21
第3 個別事項	
3. 1 通知毎の設定項目	26
3. 1. 1 市町村回付情報の設定項目(年次)	26
3. 1. 2 市町村回付情報の設定項目(月次)	27
3. 2 通知毎の仕様(介護/国保/後期)	28
3. 2. 1 特別徴収対象者情報ファイル仕様	28
3. 2. 2 特別徴収依頼情報ファイル仕様	34
3. 2. 3 特別徴収依頼処理結果情報ファイル仕様	40
3. 2. 4 特別徴収結果情報ファイル仕様	46
3. 2. 5 特別徴収各種異動情報ファイル仕様	73
第4 留意事項	
4. 1 項目設定共通事項	92
4. 1. 1 「住所」欄	92
4. 1. 2 「氏名」欄	98
4. 1. 3 「年月日」欄	100
4. 1. 4 「金額」欄	100
4. 2 エラーの取り扱いについて	101
4. 3 エラーチェック内容	103
4. 4 データ交換の流れ	108
4. 5 媒体作成・伝送使用上の留意事項	110
第5 文字コード規定	
5. 1 文字コードについて	111

第 1 基本的事項

1. 1 目的

この仕様書は、年金からの特別徴収にかかる、国保連合会と市町村間で行う情報交換に使用する磁気媒体・伝送の作成仕様を規定するものです。

1. 2 規定にあたっての基本的な考え方

規定については、日本工業規格（JIS）に基づいて作成しました。
具体的には、JIS X 0601（情報交換用磁気テープのラベルとファイル構成）に準じた仕様としています。
また、使用する文字コードにおいても、JISコードとしました。

1. 3 用語の定義

- (1) 市町村回付情報 : 年金からの特別徴収において、市町村と社会保険庁及び地方公務員共済組合連合会との間で情報交換を行うファイルの総称（本仕様書においては国保連合会－市町村間の回付情報）
- (2) 集信 : 市町村から社会保険庁及び地方公務員共済組合連合会へ情報を回付すること（本仕様書においては市町村から国保連合会への情報回付）
- (3) 配信 : 社会保険庁及び地方公務員共済組合連合会から市町村へ情報を回付すること（本仕様書においては国保連合会から市町村への情報回付）
- (4) 介護 : 介護保険料/介護特別徴収/介護特別徴収制度の略称
- (5) 国保 : 国保保険料/国保特別徴収/国保特別徴収制度の略称
- (6) 後期 : 後期高齢者保険料/後期高齢者特別徴収/後期高齢者特別徴収制度の略称

第2 具体的事項

2. 1 磁気媒体・伝送関係

2. 1. 1 磁気媒体別ファイルの種類

本仕様書で規定する磁気媒体別ファイルの種類は、表2. 1. 1-1の通りです。

表2. 1. 1-1 磁気媒体別ファイルの種類

項番	媒体	ファイル	作成元	収録概要(※)
1	特別徴収対象者情報 媒体(年次)	・介護特別徴収対象者情報 ファイル ・国保特別徴収対象者情報 ファイル ・後期特別徴収対象者情報 ファイル	社会保険庁 地方公務員 共済組合連 合会	・特別徴収対象者情報
2	特別徴収依頼処理結 果情報媒体(年次)	・介護特別徴収依頼処理結 果情報ファイル ・国保特別徴収依頼処理結 果情報ファイル ・後期特別徴収依頼処理結 果情報ファイル	社会保険庁 地方公務員 共済組合連 合会	・特別徴収依頼処理結果
3	特別徴収結果情報 媒体(月次)	・介護特別徴収結果情報 ファイル ・国保特別徴収結果情報 ファイル ・後期特別徴収結果情報 ファイル	社会保険庁 地方公務員 共済組合連 合会	・特別徴収結果通知 ・特別徴収追加候補者情報 ・特別徴収追加依頼処理結果通知 ・資格喪失等処理結果通知 ・仮徴収額変更処理結果通知 (6月、7月、8月) ・住所地特例該当者処理結果通知
4	特別徴収依頼情報 媒体(年次)	・介護特別徴収依頼情報 ファイル ・国保特別徴収依頼情報 ファイル ・後期特別徴収依頼情報 ファイル	市町村	・特別徴収依頼通知
5	特別徴収各種異動情 報媒体(月次)	・介護特別徴収各種異動 情報ファイル ・国保特別徴収各種異動 情報ファイル ・後期特別徴収各種異動 情報ファイル	市町村	・特別徴収追加依頼通知 ・資格喪失等の通知 ・仮徴収額変更通知 (4月、5月、6月) ・住所地特例該当者通知

※：各収録概要は特別徴収の制度毎に作成され、それぞれのファイルに格納される。

2. 1. 2 規定事項

(1) ハード仕様

交換情報を収載するハード仕様の項目とその内容は、表2. 1. 2-1～5の通りです。

表2. 1. 2-1 FDのハード仕様

項番	項目	内容	備考
1	記録媒体	3.5インチ	
2	フォーマット形式	1.44メガバイトのMS-DOSフォーマット	

表2. 1. 2-2 MOのハード仕様

項番	項目	内容	備考
1	記録媒体	230M、640M	
2	フォーマット形式	MS-DOSフォーマット	SuperFloppy形式

表2. 1. 2-3 CDのハード仕様

項番	項目	内容	備考
1	記録媒体	CD-R (ディスクアットワンス)	
2	フォーマット形式	CDFS	

表2. 1. 2-4 DVDのハード仕様

項番	項目	内容	備考
1	記録媒体	DVD-R (ディスクアットワンス)	
2	フォーマット形式	DVD-R・・・UDF1.02	

表2. 1. 2-5 伝送仕様

項番	項目	内容	備考
1	使用回線サービス	ISDN (デジタル回線)	
2	通信プロトコル	TCP/IP	

(2) ソフト仕様

ア) 交換情報のソフト仕様

ソフト仕様の項目とその内容は、表2. 1. 2-6の通りです。

表2. 1. 2-6 交換情報のソフト仕様

項番	項目	内容	備考
1	データ属性	1バイト文字又は2バイト文字	
2	内部コード	1バイト文字 (JIS8単位コード) 2バイト文字(全角文字) (JIS83年度版による第一水準、第二水準。 JIS規定外文字は、1全角の「?」に変換。) 制御キャラクタコード (漢字シフトコードは16進「1B2442」を使用し、 カナシフトコードは16進「1B284A」を使用。)	JISX0201-1976 JISX0208-1983 JISX0202-1991
3	ファイル形式	シングルファイル/シングルボリューム マルチファイル/シングルボリューム マルチファイル/マルチボリューム ※ シングルファイル/マルチボリューム(1ファイルを複数媒体に分割して収録)は不可とする。	システムファイルを収録しないこと
4	ファイル名	英字で始まる半角英数字8桁に拡張子“.DTA”を付加したもの。	表2. 1. 2-7参照
5	データ形式	ヘッダレコード データレコード トレイラレコード より構成する。	

表2. 1. 2-7 ファイル名

項番	名称	ファイル名
1	介護特別徴収対象者情報	Z11xxxxx. DTA
2	介護特別徴収依頼情報	Z12xxxxx. DTA
3	介護特別徴収依頼処理結果情報	Z13xxxxx. DTA
4	介護特別徴収結果情報	Z14xxxxx. DTA
5	介護特別徴収各種異動情報	Z1Axxxxx. DTA
6	国保特別徴収対象者情報	Z21xxxxx. DTA
7	国保特別徴収依頼情報	Z22xxxxx. DTA
8	国保特別徴収依頼処理結果情報	Z23xxxxx. DTA
9	国保特別徴収結果情報	Z24xxxxx. DTA
10	国保特別徴収各種異動情報	Z2Axxxxx. DTA
11	後期高齢特別徴収対象者情報	Z31xxxxx. DTA
12	後期高齢特別徴収依頼情報	Z32xxxxx. DTA
13	後期高齢特別徴収依頼処理結果情報	Z33xxxxx. DTA
14	後期高齢特別徴収結果情報	Z34xxxxx. DTA
15	後期高齢特別徴収各種異動情報	Z3Axxxxx. DTA

※ 「xxxxx」について

1. 次の場合、「xxxxx」は“00000”から始まる数字5桁の通番が自動的に採番される。
 - ・国保連合会から市町村へ受渡す交換情報の場合（磁気媒体・伝送）
 - ・市町村から国保連合会へ受渡す交換情報の場合（伝送）
2. 次の場合は、「xxxxx」は任意で付与する。
 - ・市町村から国保連合会へ受渡す交換情報の場合（磁気媒体）

イ) ソフト仕様の補足説明

交換情報のソフト仕様に関する補足説明は、以下の通りです。

① データ属性（1バイト文字又は2バイト文字）

データの各1文字を1バイト(8ビット)で表す形式の文字を1バイト文字、データの各1文字を2バイト(16ビット)で表す形式の文字を2バイト文字と
いいます。

② 内部コード（JIS 8 単位コード及びJIS 第1水準・第2水準）

電子計算組織内の処理において、文字等を表わすために用いる符号です。
(第5文字コード規定参照)

③ ファイル形式

磁気媒体のファイル形式は、表2. 1. 2-8の通りです。

表2. 1. 2-8 ファイル形式

項番	ファイル形式	データの収録形態	磁気媒体の形態		
1	シングルファイル・ シングルボリューム	1媒体1通知収録	介護 情報 ファイル A 通知	国保 情報 ファイル A 通知	後期 情報 ファイル A 通知
2	マルチファイル・ シングルボリューム	1媒体1通知収録	介護 情報 ファイル A 通知	国保 情報 ファイル A 通知	後期 情報 ファイル A 通知
		1媒体複数通知収録	介護 情報 ファイル A B 通通知	国保 情報 ファイル A B 通通知	後期 情報 ファイル A B 通通知
3	マルチファイル・ マルチボリューム	複数媒体1通知収録	介護 情報 ファイル A 通知	国保 情報 ファイル A 通知	後期 情報 ファイル A 通知
		複数媒体複数通知収録	介護 情報 ファイル A B C 通通知	国保 情報 ファイル A B C 通通知	後期 情報 ファイル A B C 通通知

- ・ 1情報（制度）＝1ファイルとして下さい。
- ・ ファイルは分割せず、1媒体に格納して下さい。
- ・ 介護情報、国保情報、後期情報の順に格納して下さい。
- ・ レコードが0件の場合でも、管理レコード・ファイル管理レコードを付与したファイルを格納して下さい。

磁気媒体内のファイルフォーマットは、図2. 1. 2-1～2の通りです。

図2. 1. 2-1 ファイルフォーマット (シングルボリューム)

介護	管理レコード	ファイル管理レコード	実データ部									
			ヘッダレコード	データレコード		データレコード	トレイラレコード	ヘッダレコード	データレコード			データレコード
国保	管理レコード	ファイル管理レコード	実データ部									
			ヘッダレコード	データレコード		データレコード	トレイラレコード	ヘッダレコード	データレコード			データレコード
後期高齢	管理レコード	ファイル管理レコード	実データ部									
			ヘッダレコード	データレコード		データレコード	トレイラレコード	ヘッダレコード	データレコード			データレコード

図2. 1. 2-2 ファイルフォーマット (マルチボリューム)

1/n枚目			実データ部										
介護	管理レコード	ファイル管理レコード	ヘッダレコード	データレコード									トレイラレコード
国保	管理レコード	ファイル管理レコード	実データ部										
			ヘッダレコード	データレコード									トレイラレコード
後期高齢	管理レコード	ファイル管理レコード	実データ部										
			ヘッダレコード	データレコード									トレイラレコード

④-a データ形式（磁気媒体）

(i) 管理レコード

ファイルの先頭に位置し、媒体を一意に識別するための情報が記録されるレコードです。

詳細は、表2. 1. 2-9及び図2. 1. 2-3を参照。

(ii) ファイル管理レコード

ファイルのレコード数が記録されるレコードです。

詳細は、表2. 1. 2-10及び図2. 1. 2-4を参照。

(iii) 実データ部

ヘッダレコード、データレコード、トレイラレコードより構成します。

ヘッダレコードとは、各通知毎、年金保険者別に収録するデータのまとまりの先頭を意味し、媒体コード等を収録します。

データレコードとは、各通知毎、年金保険者別に収録する被保険者別の情報であり、個人特定用の情報、各種区分・各種年月日・各種金額等を収録します。

トレイラレコードとは、各通知毎、年金保険者別に収録するデータのまとまりの最終を意味し、合計件数・合計金額等を収録します。

詳細は3. 2. 1～5を参照。

表2. 1. 2-9 : 管理レコード (介護/国保/後期)

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される (を設定する)。	括弧内の記述は市町村にて設定する内容 (以降、同様)
	市町村コード	3	数字	C		
	スペース	1	-	C	スペースが設定される (を設定する)。	
2	媒体通番	3	数字	C	媒体・伝送の提出単位で通番を“001”からの3桁の通番で払い出し、設定される (設定する)。 (ゼロサプレス不可) 年次分、月次分の媒体を合わせた通し番号の管理は各市町村にて行うこと。 同一通番が異なる媒体に続けて付与された場合は受付できない。	
3	作成年月日	8	数字	C	国保連合会から市町村へ回付する情報においては、国保中央会にて市町村別情報を作成した年月日が設定される。 市町村から国保連合会へ回付する情報においては、市町村にて情報を作成した年月日を設定すること。 形式 : yyyymmdd (西暦年月日) (ゼロサプレス不可)	
4	予備	31	英数字	C	スペースが設定される (を設定する)。	

図 2. 1. 2-3

ファイル名	市町村回付情報	ファイル編成	順編成	ブロック長	—	記録媒体	FD/MO/CD/DVD
		ラベル形式	—	レコード長	48バイト		
ファイルID		レコード形式	固定長非ブロック化	データ長	48バイト	シングル/マルチ ファイル・ボリュームの別	シングルファイル/シングルボリューム マルチファイル/シングルボリューム マルチファイル/マルチボリューム

管理レコード1

項目名	府県コード	市町村コード	スペース	媒体通番	作成年月日	予備
文字種別	数字	数字		数字	数字	英数字
桁数	2	3	1	3	8	31
属性	C	C		C	C	C
バイト数	2	3	1	3	8	8

項目名	文字種別	桁数	属性	バイト数

項目名	文字種別	桁数	属性	バイト数

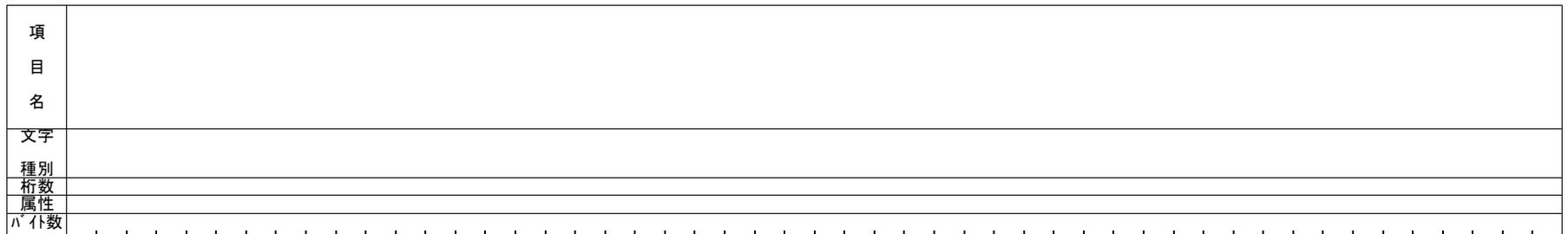
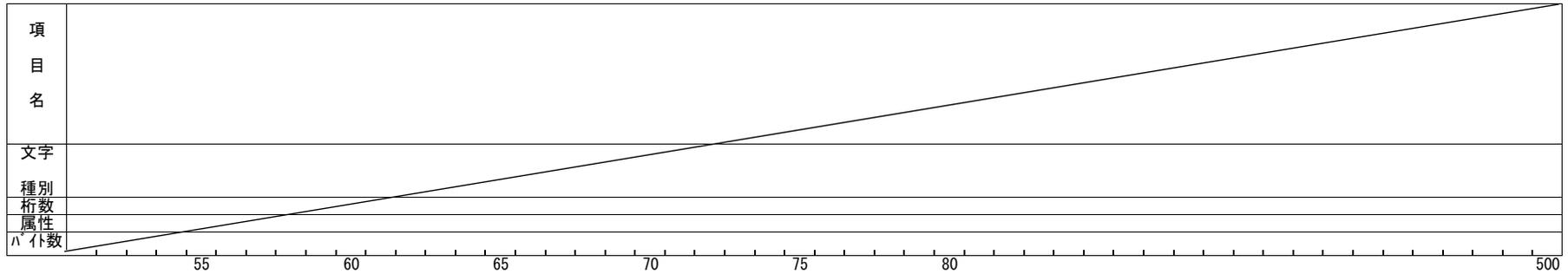
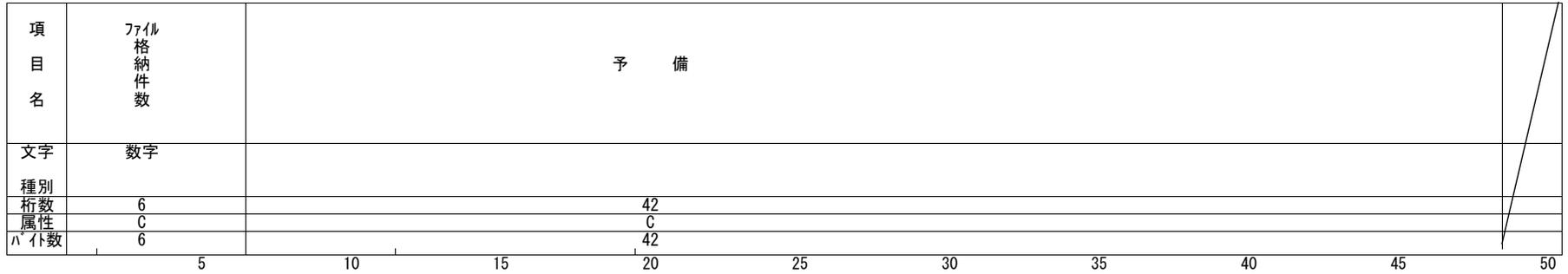
表2. 1. 2-10 : ファイル管理レコード (介護/国保/後期)

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	ファイル格納件数	6	数字	C	当該ファイルへの収録レコード数が設定される (を設定すること)。	
2	予備	42	—	C	スペースが設定される (を設定すること)。	

図2. 1. 2-4

ファイル名	市町村回付情報	ファイル編成	順編成	ブロック長	—	記録媒体	FD/MO/CD/DVD
		ラベル形式	—	レコード長	48バイト		
ファイルID		レコード形式	固定長非ブロック化	データ長	48バイト	シングル/マルチ ファイル・ボリュームの 別	シングルファイル/シングルボリューム マルチファイル/シングルボリューム マルチファイル/マルチボリューム

ファイル管理レコード1



④－b データ形式（伝送）

各レコードはCSV形式で作成されます。
 コントロールレコード、データレコードのデータ部以外及びエンドレコードは、
 国保連合会より配布される伝送ソフトにて自動で付与されます。

(i) コントロールレコード

ファイルの先頭に設定し、伝送での市町村回付情報の識別、レコード件数、送付元等の制御情報を収録します。

詳細は、表2. 1. 2-11～13を参照。

(ii) データレコード

ファイルの第二レコード以降に設定し、伝送での市町村回付情報のデータ部であることを表します。磁気媒体仕様の管理レコード・ファイル管理レコード・実データ部（ヘッダ・データ・トレイラレコード）で構成されます。

詳細は、表2. 1. 2-14を参照。

(iii) エンドレコード

ファイルの最終レコードとして設定し、伝送での市町村回付情報の終端を表します。
 詳細は、表2. 1. 2-15を参照。

(データ設定例)

シングルファイルボリュームで、データレコード件数=123、
 データ種別=999、保険者番号=111111、
 処理対象年月（注1）=2008年4月、ファイル管理番号=1の場合の
 データ設定例を示す。

・コントロールレコード設定例

位置	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
設定値	1	,	1	,	0	,	1	2	3	,	9	9	9	,	0	,	1	1	1	1	1	1	,	0	,	0	,	1	,	2	0	0	8	0	4	,	1	改行	コード

・データレコード設定例（注2）

位置	1	2	3	4
設定値	2	,	2	,	... データを設定 ...																							改行	コード

・エンドレコード設定例

位置	1	2	3	4	5	6	7
設定値	3	,	1	2	5	改行	コード

注1：処理対象年月について

以下にコントロールレコードの処理対象年月の設定内容について記載する。

① 市町村から国保連合会へ受け渡す市町村回付情報の場合

国保連合会で電算処理を実行する年月を設定する。

例： ・ 2008年4月10日～2008年6月12日対象者判定分について6月に国保連合会で電算処理を実行するための情報を国保連合会に提出する場合は、“200806”を設定する。

② 国保連合会から市町村へ受け渡す交換情報の場合

国保連合会で市町村への送信処理を実行した年月が設定される。

例： ・ 2008年2月1日～2008年3月31日対象者抽出分について4月に市町村への送信処理が実行される場合は、“200804”が設定される。

注2：データレコードについて

データレコードには、当該情報交換媒体作成仕様の規定に従い、管理レコード・ファイル管理レコード・実データ部の内容を設定する。

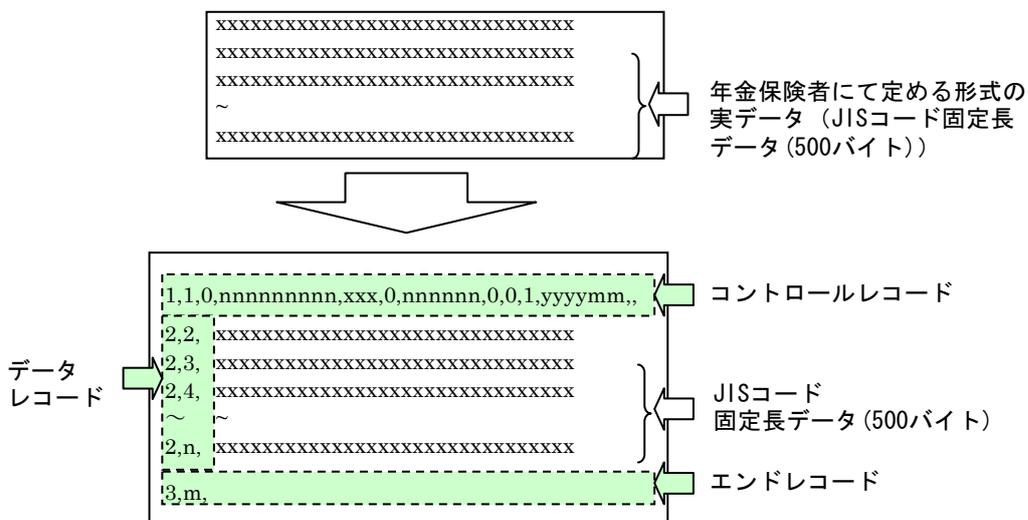


表2. 1. 2-11: コントロールレコード (伝送)

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード種別	1	数字	C	コントロールレコードを示す“1”を設定	
2	レコード番号 (連番)	9	数字	C	ファイル内の先頭レコードからの連番(1から始まる通番)を設定	
3	ボリューム通番	3	数字	C	“0”を設定	
4	レコード件数	9	数字	C	データレコードの件数を設定 (コントロールレコード及びエンドレコードの件数は加算しない)	
5	データ種別	3	英数字	C	表2.1.2-13「データ種別一覧」参照	
6	福祉事務所特定番号	2	数字	C	“0”を設定	
7	保険者番号	6	英数字	C	伝送を行う市町村の保険者番号を設定する	表2.1.2-12参照
8	事業所番号	10	数字	C	“0”を設定	
9	都道府県番号	2	数字	C	“0”を設定	
10	媒体区分	1	英数字	C	“1”(伝送)を設定	表2.1.2-12参照
11	処理対象年月	6	数字	C	データの処理対象年月を設定する	④-b 注1参照
12	ファイル管理番号	6	数字	C	“0”を設定	
13	ブランク	2	英数字	C	改行(16進コード…0x0D0A)を設定	

表2. 1. 2-12 コード一覧 (伝送)

項番	名称	属性	桁数	内容
1	媒体区分コード	数字	1	1:伝送
2	保険者番号	数字	6	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村介護担当部署が伝送を行う場合 被保険者証記載の保険者番号 ・市町村国保担当部署が伝送を行う場合 被保険者証記載の保険者番号 ・市町村後期担当部署が伝送を行う場合 被保険者証記載の法別番号を除く6桁の保険者番号

表 2. 1. 2-13 データ種別一覧 (伝送)

項番	名称	データ種別	内容
1	介護特別徴収対象者情報	Z11	特別徴収対象者情報 (年次)
2	介護特別徴収依頼情報	Z12	特別徴収依頼通知 (年次)
3	介護特別徴収依頼処理結果情報	Z13	特別徴収依頼処理結果通知 (年次)
4	介護特別徴収結果情報	Z14	特別徴収結果通知 (定期) 特別徴収追加候補者情報 (月次) 特別徴収追加依頼処理結果通知 (月次) 資格喪失等処理結果通知 (月次) 仮徴収額変更処理結果通知 (月次) 住所地特例該当者処理結果通知 (月次)
5	介護特別徴収各種異動情報	Z1A	特別徴収追加依頼通知 (月次) 資格喪失等の通知 (月次) 仮徴収額変更通知 (月次) 住所地特例該当者通知 (月次)
6	国保特別徴収対象者情報	Z21	特別徴収対象者情報 (年次)
7	国保特別徴収依頼情報	Z22	特別徴収依頼通知 (年次)
8	国保特別徴収依頼処理結果情報	Z23	特別徴収依頼処理結果通知 (年次)
9	国保特別徴収結果情報	Z24	特別徴収結果通知 (定期) 特別徴収追加候補者情報 (月次) 特別徴収追加依頼処理結果通知 (月次) 資格喪失等処理結果通知 (月次) 仮徴収額変更処理結果通知 (月次) 住所地特例該当者処理結果通知 (月次)
10	国保特別徴収各種異動情報	Z2A	特別徴収追加依頼通知 (月次) 資格喪失等の通知 (月次) 仮徴収額変更通知 (月次) 住所地特例該当者通知 (月次)
11	後期高齢特別徴収対象者情報	Z31	特別徴収対象者情報 (年次)
12	後期高齢特別徴収依頼情報	Z32	特別徴収依頼通知 (年次)
13	後期高齢特別徴収依頼処理結果情報	Z33	特別徴収依頼処理結果通知 (年次)
14	後期高齢特別徴収結果情報	Z34	特別徴収結果通知 (定期) 特別徴収追加候補者情報 (月次) 特別徴収追加依頼処理結果通知 (月次) 資格喪失等処理結果通知 (月次) 仮徴収額変更処理結果通知 (月次) 住所地特例該当者処理結果通知 (月次)
15	後期高齢特別徴収各種異動情報	Z3A	特別徴収追加依頼通知 (月次) 資格喪失等の通知 (月次) 仮徴収額変更通知 (月次) 住所地特例該当者通知 (月次)

表 2. 1. 2-14 : データレコード (伝送)

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード種別	1	数字	C	データレコードを示す“2”を設定	
2	レコード番号 (連番)	9	数字	C	ファイル内の先頭レコードからの 連番(1から始まる通番)を設定	
3	データ				市町村回付情報ごとにデータを設定	④-b 注2 参照
4	blank	2	英数字	C	改行(16進コード…0x0D0A)を設定	

表 2. 1. 2-15 : エンドレコード (伝送)

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード種別	1	数字	C	エンドレコードを示す“3”を設定	
2	レコード番号 (連番)	9	数字	C	ファイル内の先頭レコードからの 連番 (1 から始まる通番) を設定	
3	ブランク	2	英数字	C	改行 (16進コード…0x0D0A) を設定	

2. 2 コード関係

2. 2. 1 コードの種類

項番	コード名称	内 容
1	レコード区分	ヘッダ・データ・トレイラを区別するもの
2	市町村コード	市町村名をコード化したもの
3	特別徴収義務者コード	特別徴収義務者をコード化したもの
4	通知内容コード	回付情報の通知内容を区分するもの
5	媒体コード	回付する情報の媒体をコード化したもの
6	年金コード	年金種別をコード化したもの
7	性別コード	性別をコード化したもの
8	各種区分	各通知内容毎の事由又は、処理結果等を区分するもの
9	処理結果	各通知内容の処理結果をコード化したもの
10	特別徴収制度コード	特別徴収制度をコード化したもの
11	後期移管コード	後期高齢者医療の被保険者として扱う対象者をコード化したもの

2. 2. 2 コード仕様

項番	コード名称	コード	内 容	対象制度		
				介護	国保	後期
1	レコード区分	1	ヘッダレコード	○	○	○
		2	データレコード	○	○	○
		3	トレイラレコード	○	○	○
2	市町村コード	総務省で定められた地方公共団体コード参照		○	○	○
3	特別徴収義務者コード	501	国家公務員共済組合連合会	○	○	○
		594	地方職員共済組合	○	○	○
		595	地方職員共済組合団体共済部	○	○	○
		596	東京都職員共済組合	○	○	○
		597	札幌市職員共済組合	○	○	○
		598	川崎市職員共済組合	○	○	○
		599	横浜市職員共済組合	○	○	○
		600	名古屋市職員共済組合	○	○	○
		601	京都市職員共済組合	○	○	○
		602	大阪市職員共済組合	○	○	○
		603	神戸市職員共済組合	○	○	○
		604	広島市職員共済組合	○	○	○
		605	北九州市職員共済組合	○	○	○
		606	福岡市職員共済組合	○	○	○
		700	全国市町村職員共済組合連合会	○	○	○
		686	日本私立学校振興・共済事業団	○	○	○
		687	農林漁業団体職員共済組合	○	○	○
999	社会保険庁	○	○	○		
4	通知内容コード	00	特別徴収対象者情報	○	○	○
		01	特別徴収依頼通知	○	○	○
		02	特別徴収依頼処理結果通知	○	○	○
		22	特別徴収結果通知	○	○	○
		30	特別徴収追加候補者情報	○	○	○
		31	特別徴収追加依頼通知	○	○	○
		32	特別徴収追加依頼処理結果通知	○	○	○
		41	資格喪失等の通知	○	○	○
		42	資格喪失等処理結果通知	○	○	○
		61	仮徴収額変更通知	○	○	○
		62	仮徴収額変更処理結果通知	○	○	○
		81	住所地特例該当者通知	○	○	○
		82	住所地特例該当者処理結果通知	○	○	○
		5	媒体コード	2	フロッピーディスク (FD)	○
5	光磁気ディスク (MO)			○	○	○
6	回線			○	○	○
7	コンパクトディスク (CD-R)			○	○	○
8	光ディスク (DVD-R)			○	○	○

項番	コード名称	コード	内 容	対象制度		
				介護	国保	後期
6	年金コード(特別徴収にかか る情報交換における年金コードである)	0120～29	国民年金老齢年金	○	○	○
		0220～29		○	○	○
		0320～29		○	○	○
		0420～29		○	○	○
		0520～29	国民年金通算老齢年金	○	○	○
		0130～39	厚生年金保険老齢年金	○	○	○
		0230～39	厚生年金保険通算老齢年金	○	○	○
		0830～39	厚生年金保険特例老齢年金	○	○	○
		0140～49	船員保険老齢年金	○	○	○
		0240～49	船員保険通算老齢年金	○	○	○
		0640～49	船員保険養老年金	○	○	○
		0840～49	船員保険特例老齢年金	○	○	○
		1150～59	老齢基礎年金	○	○	○
		0100, 0160～69	退職年金(共済)	○	○	○
		0200, 0260～69	通算退職年金(共済)	○	○	○
		0300, 0360～69	減額退職年金(共済)	○	○	○
		1350～59	障害基礎年金	○	○	○
		2650～59	障害基礎年金(障害福祉年金裁定替え分)	○	○	○
		5350～59	障害基礎年金(短期)	○	○	○
		6350～59	障害基礎年金(20歳前)	○	○	○
		2350～59	障害厚生年金	○	○	○
		3350～59	職務上障害年金	○	○	○
		0620～29	国民年金障害年金	○	○	○
		0330～39	厚生年金保険障害年金	○	○	○
		0340～49	船員保険障害年金	○	○	○
		1300, 1370～79	障害共済年金	○	○	○
		0500, 0560～69	障害年金(共済)	○	○	○
		1450～59	遺族基礎年金	○	○	○
		6450～59	遺族基礎年金(短期)	○	○	○
		2450～59	遺族厚生年金	○	○	○
		3450～59	職務上遺族年金	○	○	○
		0430～39	厚生年金保険遺族年金	○	○	○
		0530～39	厚生年金保険寡婦年金	○	○	○
0930～39	厚生年金保険通算遺族年金	○	○	○		
0440～49	船員保険遺族年金	○	○	○		
1400, 1470～79	遺族共済年金	○	○	○		
0400, 0460～69	遺族年金(共済)	○	○	○		
0900, 0960～69	通算遺族年金(共済)	○	○	○		
7	性別コード	1	男子	○	○	○
		2	女子	○	○	○

項番	コード名称	コード	内 容	対象制度		
				介護	国保	後期
8	各種区分	通知内容コード＝「00」：特別徴収対象者情報				
		01	新規者	○	○	○
		02	前年度継続者	○	○	○
		70	ダミーレコード	○	－	－
		通知内容コード＝「01」：特別徴収依頼通知				
		01	特別徴収対象者	○	○	○
		02	特別徴収対象者（住所地特例該当）	○	○	○
		03	特別徴収非対象者	○	○	○
		通知内容コード＝「22」：特別徴収結果通知				
		00	正常	○	○	○
		01	失権	○	○	○
		02	差止	○	○	○
		03	支払年金額不足	○	○	○
		05	特別徴収非該当（他制度による中止）	－	○	－
		10	正常（75歳以上で国保特別徴収中）	－	○	－
		通知内容コード＝「30」：特別徴収追加候補者情報				
		01	新規者	○	○	○
		02	住所変更者	○	○	○
		通知内容コード＝「31」：特別徴収追加依頼通知				
		01	特別徴収対象者	○	○	○
		02	特別徴収対象者（住所地特例該当）	○	○	○
		03	特別徴収非対象者	○	○	○
		通知内容コード＝「41」：資格喪失等の通知				
		01	死亡	○	○	○
		02	転出	○	○	○
		03	特別事情	○	○	○
		04	適用除外	○	○	○
		通知内容コード＝「61」：仮徴収額変更通知				
		00	初期値	○	○	○
		通知内容コード＝「81」：住所地特例該当者通知				
		01	住所地特例該当	○	○	○
		02	住所地特例該当解除	○	○	○
		9	処理結果	00	正常	○
01	失権			○	○	○
02	差止			○	○	○
03	支払年金額不足			○	○	○
50	1レコード内単項目エラー			○	○	○
51	相関エラー			○	○	○
52	原簿突合エラー			○	○	○
10	特別徴収制度コード	0	介護	○	－	－
		1	国保	－	○	－
		2	後期	－	－	○
11	後期移管コード	0	初期値	－	－	○
		1	65歳以上75歳未満の政令で定める程度の障害の状態にある旨の認定を受けたことにより後期として扱う後期移管対象者	－	－	○

※各種区分と処理結果区分との組合せ設定については、別紙「各種区分、処理結果区分コード対応表」参照。

※00－70（ダミーレコード）は、国保／後期のH19／10捕捉時のみ使用する。

別紙 各種区分、処理結果区分コード対応表

通知内容 コード	各種区分		処理結果	
	コード	内 容	コード	内 容
00	01	新規者	00	初期値
	02	前年度継続者		
	70	ダミーレコード		
01	01	特別徴収対象者		
	02	特別徴収対象者（住所地特例該当）		
	03	特別徴収非対象者		
02	通知内容コード「01」の内容を収録する		通知内容コード「01」の各種区分が「01」「02」の場合	
			00	正常
			01	失権
			02	差止
			03	支払年金額不足
			50	1レコード内単項目エラー
			51	相関エラー
			52	原簿突合エラー
			通知内容コード「01」の各種区分が上記以外の場合	
			00	正常
			50	1レコード内単項目エラー
			51	相関エラー
			52	原簿突合エラー
22	00	正常	00	初期値
	01	失権		
	02	差止		
	03	支払年金額不足		
	05	特別徴収非該当（他制度による中止）		
	10	正常（75歳以上で国保特別徴収中）		
30	01	新規者	00	初期値
	02	住所変更者		
31	01	特別徴収対象者		
	02	特別徴収対象者（住所地特例該当）		
	03	特別徴収非対象者		

通知内容 コード	各種区分		処理結果	
	コード	内 容	コード	内 容
32	通知内容コード「31」の内容を収録する		通知内容コード「31」の各種区分が「01」「02」の場合	
			00	正常
			01	失権
			02	差止
			03	支払年金額不足
			50	1レコード内単項目エラー
			51	相関エラー
			52	原簿突合エラー
			通知内容コード「31」の各種区分が上記以外の場合	
			00	正常
			50	1レコード内単項目エラー
			51	相関エラー
52	原簿突合エラー			
41	01	死亡	00	初期値
	02	転出		
	03	特別事情		
	04	適用除外		
42	通知内容コード「41」の内容を収録する		00	正常
			50	1レコード内単項目エラー
			51	相関エラー
			52	原簿突合エラー
61	00	初期値	00	初期値
62	通知内容コード「61」の内容を収録する		00	正常
			50	1レコード内単項目エラー
			51	相関エラー
			52	原簿突合エラー
81	01	住所地特例該当	00	初期値
	02	住所地特例該当解除		
82	通知内容コード「81」の内容を収録する		00	正常
			50	1レコード内単項目エラー
			51	相関エラー
			52	原簿突合エラー

※00-70（ダミーレコード）は、国保／後期のH19／10捕捉時のみ使用する。

3. 1. 2 市町村回付情報の設定項目（月次）

表 3. 1. 2-1 市町村回付情報の設定項目（月次・介護/国保/後期）

項番	設定項目 通知内容	ヘッダ														データレコード														トレイラ														
		レコード区分	市町村コード	特別徴収義務者コード	通知内容コード	媒体コード	特別徴収制度コード	作成年月日	レコード区分	市町村コード	特別徴収義務者コード	通知内容コード	特別徴収制度コード	作成年月日	基礎年金番号	年金コード		性別	氏名			住所				各種区分	処理結果	後期移管コード(注4)	各種年月日	各種金額欄			共済年金証書記号番号(注5)	レコード区分	市町村コード	特別徴収義務者コード	通知内容コード	特別徴収制度コード	作成年月日	レコード件数	合計金額			
																種別	区分		カナ	漢字(注3)	シフトコード	郵便番号	カナ	シフトコード	漢字(注3)					シフトコード	金額1(注6)	金額2(注6)									金額3(注6)	金額1	金額2	金額3
1	「22」：特別徴収結果通知	○	○	▲	○	—	○	○	○	○	▲	○	○	○	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	○	—	—	○	○	—	—	▲	○	○	▲	○	○	○	○	—	—	—				
2	「30」：特別徴収追加候補者情報	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—		
3	「31」：特別徴収追加依頼通知	○	○	◆	○	◆	○	○	○	◆	○	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	—	○	○	—	◆	◆	○	○	◆	○	◆	○	○	○	—	—	—				
4	「32」：特別徴収追加依頼処理結果通知	◎	◎	◆	○	◆	○	◎	◎	◆	○	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◎	○	◎	◎	—	◆	◆	◎	◎	◆	○	◆	○	○	○	—	—	—					
5	「41」：資格喪失等の通知	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	▲	▲	○	○	○	△	○	○	○	—	—	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—						
6	「42」：資格喪失等処理結果通知	◎	◎	◎	○	—	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	—	◎	—	—	—	▲	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	○	—	—	—				
7	「61」：仮徴収額変更通知	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	▲	▲	○	○	○	△	○	○	○	—	—	○	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—					
8	「62」：仮徴収額変更処理結果通知	◎	◎	◎	○	—	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	—	◎	◎	—	—	▲	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	○	—	—	—				
9	「81」：住所地特例該当者通知	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	▲	▲	○	○	○	△	○	○	○	—	—	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—	—						
10	「82」：住所地特例該当者処理結果通知	◎	◎	◎	○	—	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	—	◎	—	—	—	▲	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	○	—	—	—				

(注1)
 : 年金保険者 → 市町村への回付情報
 : 市町村 → 年金保険者への回付情報

(注2)
 ○…必須設定項目 △…任意設定項目 —…初期値（項目属性に合わせた初期値を設定する）
 ◆…「(30)：特別徴収追加候補者情報」の項目内容を消去・変更することなく作成する。
 ▲…「(00)：特別徴収対象者情報」または、「(30)：特別徴収追加候補者情報」の項目内容を消去・変更せずに作成する。
 ◎…市町村回付レコードの項目内容をそのまま設定する。

- (対応レコード)
- ① 「(31)：特別徴収追加依頼通知」 — 「(32)：特別徴収追加依頼処理結果通知」
 - ② 「(41)：資格喪失等の通知」 — 「(42)：資格喪失等処理結果通知」
 - ③ 「(61)：仮徴収額変更通知」 — 「(62)：仮徴収額変更処理結果通知」
 - ④ 「(81)：住所地特例該当者通知」 — 「(82)：住所地特例該当者処理結果通知」

(注3) 「(30)：特別徴収追加候補者情報」では、年金保険者において漢字項目を収録済の者はその内容を設定し、未収録者はスペースを設定する。

(注4) 介護及び国保は後期移管コードを使用しないため、スペースを設定する。

(注5) 社会保険庁分：スペースを設定する。共済組合分：共済の年金証書記号番号を設定する。

3. 2 通知毎の仕様（介護/国保/後期）

3. 2. 1 特別徴収対象者情報ファイル仕様

（1）レコードの種類

特別徴収対象者情報ファイルに収録するレコードの種類は、表 3. 2. 1-1 の通りです。

表 3. 2. 1-1 レコードの種類

項番	項目 (通知内容コード)	内容
1	特別徴収対象者情報 (00)	毎年4/1を基準日とし、社会保険庁及び、各共済組合にて政令で定められた特別徴収対象条件を満たした年金受給者の情報を収録するレコードである。

※国保/後期のH19/10捕捉に係る留意事項

国保/後期について、年齢要件はH20/4/1、年金要件はH19/10/1が基準日となります。

介護について、介護ダミーレコードが発出されます。その際、各種金額欄に下記が設定されます。

金額1：端数調整後の支払回数割保険料『10月定期支払』

金額2：定額の支払回数割保険料『10月定期支払』以外

金額3：仮徴収額

(2) レコードの収録項目

特別徴収対象者情報レコードの収録項目は表3. 2. 1-2、3. 2. 1-3、3. 2. 1-4の通りです。

表3. 2. 1-2：ヘッダレコード（介護/国保/後期）

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードが設定される。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“00”が設定される。	
5	媒体コード		1	数字	C	全桁“0”が設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースが設定される。	

表3. 2. 1-3 : データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードが設定される。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“00” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	基礎年金番号が設定される。	
9	年金コード		4	数字	C	社会保険庁使用の年金コードが設定される。	コード表参照
10	予備		3	英数字	C	スペースが設定される。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	生年月日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C	性別コードが設定される。	コード表参照
13	氏名	カナ	25	カナ	C	氏名(カナ、漢字)、シフトコードが設定される。	留意事項 4.1.2 「氏名」 欄参照
シフトコード		3	記号	X			
漢字		25	漢字	X			
シフトコード		3	記号	X			
17	住所	郵便番号	7	数字	C	郵便番号が設定される。	
18		カナ	80	カナ	C	住所(カナ、漢字)、シフトコードが設定される。	留意事項 4.1.1 「住所」 欄参照
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
22	各種区分	2	数字	C	通知内容毎の各種区分が設定される。	コード表参照	
23	処理結果	2	数字	C	全桁“0”が設定される。		
24	後期移管コード	1	数字	C	後期移管コードが設定される。 介護：スペースが設定される。 国保：スペースが設定される。 後期：後期として扱う対象者を示すコードが設定される。	コード表参照 ※介護及び国保では使用しない。	
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		金額2	11	数字	C	全桁“0”が設定される。	
		金額3	11	数字	C	特別徴収対象年金の年金額が設定される。	
27	予備	58	英数字	C	スペースが設定される。		
28	共済年金証書記号番号	15	英数字 カナ	C	社会保険庁分：スペースが設定される。 共済組合分：共済の年金証書記号番号が設定される。		

表3. 2. 1-4 : トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	当該年金保険者のコードが設定される。	コード表参照
4	通知内容コード		2	数字	C	“00” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数が設定される。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	全桁“0” が設定される。	
		金額2	11	数字	C		
		金額3	11	数字	C		
10	予備		437	英数字	C	スペースが設定される。	

(3) レコード収録条件

年金保険者では特別徴収対象者情報を以下に示す収録条件に従い作成します。

(情報収録条件)

- a. 特別徴収義務者コードで昇順にソート

特別徴収対象者情報の収録例を図3. 2. 1-1に示します。

図3. 2. 1-1 特別徴収対象者情報の収録例

通知内容コード=「00」

介護情報ファイル					国民健康保険情報ファイル														
特別徴収対象者情報					特別徴収対象者情報														
年金保険者A			年金保険者B		年金保険者A			年金保険者B											
H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T

後期高齢者情報ファイル									
特別徴収対象者情報									
年金保険者A			年金保険者B						
H	D	……	D	T	H	D	……	D	T

- (注) H … ヘッダレコード
D … データレコード
T … トレイラレコード

3. 2. 2 特別徴収依頼情報ファイル仕様

(1) レコードの種類

特別徴収依頼情報ファイルに収録するレコードの種類は、表3. 2. 2-1の通りです。

表3. 2. 2-1 レコードの種類

項番	項 目 (通知内容コード)	内 容
1	特別徴収依頼通知 (01)	年金保険者から回付された特別徴収対象者情報を基に本人特定及び支払回数割保険料額の決定を行なった特別徴収依頼通知を収録するレコードである。

※ 特別徴収依頼情報の作成にあたっては、年金保険者から回付された特別徴収対象者情報の内容を消去せず、通知内容コード、支払回数割保険料額等の必要事項を上書きする形で作成してください。

具体的には、3. 1. 1「市町村回付情報の設定項目（年次）」記載のとおりですが、このうち「●」となっている項目について変更または消去を行った場合、年金保険者における処理が行えず、特別徴収ができなくなりますので留意してください。

※ 特別徴収依頼にあたっては、同時に回付された特別徴収対象者情報に対する全ての依頼を必ず同時に行ってください。

※ 国保／後期のH19／10捕捉に対する特別徴収依頼に係る留意事項

介護について、年金保険者が発出した介護ダミーレコードに対しては、特別徴収依頼を行わないで下さい。依頼を行っても返戻しますので留意して下さい。

国保／後期について、金額1に定額の支払回数割保険料、金額2に全桁“0”を設定して下さい。

(2) レコードの収録項目

特別徴収依頼通知レコードの収録項目は表3. 2. 2-2、3. 2. 2-3、3. 2. 2-4の通りです。

表3. 2. 2-2 : ヘッダレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“01”を設定すること。	
5	媒体コード		1	数字	C	媒体コード(市町村→年金保険者)を設定すること。	コード表参照
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースを設定すること。	

表3. 2. 2-3 : データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2”を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“01”を設定すること。	
5	予備		1	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
9	年金コード		4	数字	C		
10	予備		3	英数字	C	スペースを設定すること。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C		
13	氏名	カナ	25	カナ	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
14		シフトコード	3	記号	X		
15		漢字	25	漢字	X		
16		シフトコード	3	記号	X		
17	住所	郵便番号	7	数字	C		
18		カナ	80	カナ	C		
19		シフトコード	3	記号	X		
20	所	漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考	
22	各種区分	2	数字	C	通知内容毎の各種区分を設定すること。	コード表参照	
23	処理結果	2	数字	C	全桁“0”を設定すること。		
24	後期移管コード	1	数字	C	後期移管コードを設定すること。 介護：スペースを設定すること。 国保：スペースを設定すること。 後期：後期として扱う対象者を示すコードを設定すること。	コード表参照 ※介護及び国保では使用しない。	
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	依頼通知の発生日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C	端数調整後の支払回数割保険料（10月定期支払）を設定すること。 端数調整がない場合は「金額2項目」の内容を設定すること。	留意事項 4.1.4 「金額」欄参照
		金額2	11	数字	C	定額の支払回数割保険料（10月定期支払以外）を設定すること。	留意事項 4.1.4 「金額」欄参照
		金額3	11	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
27	予備	58	英数字	C	スペースを設定すること。		
28	共済年金証書記号番号	15	英数字 カナ	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。		

※国保／後期のH19／10の捕捉については、金額1に定額の支払回数割保険料、金額2に全桁“0”を設定すること。

表3. 2. 2-4 : トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3” を設定すること。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードを設定すること。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“01” を設定すること。	
5	予備		1	英数字	C	スペースを設定すること。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収対象者情報に収録されている内容をそのまま消去せず作成すること。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日を設定すること。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数を設定すること。	
9	合計金額	金額1	11	数字	C	データレコードの各種金額欄・金額1の合計金額を設定すること。	留意事項 4.1.4 「金額」欄 参照
		金額2	11	数字	C	データレコードの各種金額欄・金額2の合計金額を設定すること。	留意事項 4.1.4 「金額」欄 参照
		金額3	11	数字	C	全桁“0”を設定すること。	
10	予備		437	英数字	C	スペースを設定すること。	

(3) レコード収録条件

特別徴収依頼通知の収録条件は以下の通りです。

(情報収録条件)

- a. 特別徴収義務者コードで昇順にソート
- b. 特別徴収対象者情報ファイルで回付したデータについてすべて収録

特別徴収依頼通知の収録例を図3. 2. 2-1に示します。

図3. 2. 2-1 特別徴収依頼通知の収録例

通知内容コード=「01」

介護情報ファイル																			
特別徴収依頼通知																			
年金保険者A				年金保険者B				年金保険者C				年金保険者D							
H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T

国民健康保険情報ファイル																			
特別徴収依頼通知																			
年金保険者A				年金保険者B				年金保険者C				年金保険者D							
H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T

後期高齢者情報ファイル																			
特別徴収依頼通知																			
年金保険者A				年金保険者B				年金保険者C				年金保険者D							
H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T

- (注) H … ヘッダレコード
D … データレコード
T … トレイラレコード

3. 2. 3 特別徴収依頼処理結果情報ファイル仕様

(1) レコードの種類

特別徴収依頼処理結果情報ファイルに収録するレコードの種類は、表3. 2. 3-1の通りです。

表3. 2. 3-1 レコードの種類

項番	項目 (通知内容コード)	内容
1	特別徴収依頼処理結果通知 (02)	特別徴収依頼通知に対しての年金保険者に関する処理結果を収録するレコードである。

(2) レコードの収録項目

特別徴収依頼処理結果レコードの収録項目は表3. 2. 3-2、3. 2. 3-3、3. 2. 3-4のとおりです。

表3. 2. 3-2 : ヘッダレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	特別徴収依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“02”が設定される。	
5	媒体コード		1	数字	C	“0”が設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースが設定される。	

表3. 2. 3-3 : データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	特別徴収依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“02”が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	
9	年金コード		4	数字	C		
10	予備		3	英数字	C	スペースが設定される。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C		
13	氏名	カナ	25	カナ	C		
14		シフトコード	3	記号	X		
15		漢字	25	漢字	X		
16		シフトコード	3	記号	X		
17	住所	郵便番号	7	数字	C		
18		カナ	80	カナ	C		
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		

項番	項目名	桁数	文字種別	属性	説明	備考
22	各種区分	2	数字	C	特別徴収依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
23	処理結果	2	数字	C	処理結果が設定される。	コード表参照
24	後期移管コード	1	数字	C	特別徴収依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
25	各種年月日	西暦年	4	数字	C	
		月	2	数字	C	
		日	2	数字	C	
26	各種金額欄	金額1	11	数字	C	
		金額2	11	数字	C	
		金額3	11	数字	C	
27	予備	58	英数字	C	スペースが設定される。	
28	共済年金証書記号番号	15	英数字 カナ	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	

表 3. 2. 3-4 : トレイラレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“3” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	特別徴収依頼通知の該当項目の内容が設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“02” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収対象者情報の該当項目の内容が設定される。	
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	合計件数		9	数字	C	データレコードの合計件数が設定される。	
9	合計金額	金額 1	11	数字	C	データレコードの処理結果=「00」の各種金額欄・金額 1 の合計金額が設定される。	留意事項 4.1.4 「金額」欄 参照
		金額 2	11	数字	C	データレコードの処理結果=「00」の各種金額欄・金額 2 の合計金額が設定される。	留意事項 4.1.4 「金額」欄 参照
		金額 3	11	数字	C	全桁“0” が設定される。	
10	予備		437	英数字	C	スペースが設定される。	

(3) レコード収録条件

年金保険者では特別徴収依頼処理結果を、以下に示す収録条件に従い作成します。

(情報収録条件)

- a. 特別徴収義務者コードで昇順にソート
- b. 特別徴収依頼通知で回付されたデータのみ全て収録

特別徴収依頼処理結果の収録例を図3. 2. 3-1に示します。

図3. 2. 3-1 特別徴収依頼処理結果の収録例

通知内容コード=「02」

介護情報ファイル																			
特別徴収依頼処理結果																			
年金保険者A				年金保険者B				年金保険者C				年金保険者D							
H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T
国民健康保険情報ファイル																			
特別徴収依頼処理結果																			
年金保険者A				年金保険者B				年金保険者C				年金保険者D							
H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T
後期高齢者情報ファイル																			
特別徴収依頼処理結果																			
年金保険者A				年金保険者B				年金保険者C				年金保険者D							
H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T	H	D	……	D	T

- (注) H … ヘッダレコード
 D … データレコード
 T … トレイラレコード

3. 2. 4 特別徴収結果情報ファイル仕様

(1) レコードの種類

特別徴収結果情報ファイルに収録するレコードの種類は、表3. 2. 4-1の通りです。

表3. 2. 4-1 レコードの種類

項番	項目 (通知内容コード)	内 容
1	特別徴収結果通知 (22)	特別徴収該当者の保険料の徴収内容を収録したレコードである。
2	特別徴収追加候補者情報 (30)	4月1日を基準日とした特別徴収対象者以外で、新たに4月2日～6月1日、6月2日～8月1日、8月2日～10月1日、10月2日～12月1日、12月2日～2月1日の期間ごとに、社会保険庁及び、各共済組合にて政令で定められた特別徴収対象条件を満たした年金受給者の情報を収録するレコードである。
3	特別徴収追加依頼 処理結果通知 (32)	特別徴収追加依頼通知に対しての年金保険者に関する処理結果を収録するレコードである。
4	資格喪失等処理結果通知 (42)	特別徴収該当者への資格喪失等の通知に対する処理結果を収録するレコードである。
5	仮徴収額変更処理結果通知 (62)	特別徴収該当者への仮徴収額変更通知に対する処理結果を収録するレコードである。
6	住所地特例該当者 処理結果通知 (82)	特別徴収該当者への住所地特例該当者通知に対する処理結果を収録するレコードである。

(2) レコードの収録項目

特別徴収結果通知レコードの収録項目は表3. 2. 4-2、3. 2. 4-3、3. 2. 4-4の通りです。

表3. 2. 4-2 : ヘッダレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“1”が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“22”が設定される。	
5	媒体コード		1	数字	C	全桁“0”が設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」欄 参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	予備		479	英数字	C	スペースが設定される。	

表3. 2. 4-3 : データレコード (介護/国保/後期)

項番	項目名		桁数	文字種別	属性	説明	備考
1	レコード区分		1	数字	C	“2” が設定される。	
2	市町村コード	府県コード	2	数字	C	総務省で定められた地方公共団体コードが設定される。	
		市町村コード	3	数字	C		
3	特別徴収義務者コード		3	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
4	通知内容コード		2	数字	C	“22” が設定される。	
5	予備		1	英数字	C	スペースが設定される。	
6	特別徴収制度コード		1	数字	C	特別徴収制度コードが設定される。	コード表参照
7	作成年月日	西暦年	4	数字	C	レコード作成処理日が設定される。	留意事項 4.1.3 「年月日」 欄参照
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
8	基礎年金番号		10	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
9	年金コード		4	数字	C		
10	予備		3	英数字	C	スペースが設定される。	
11	生年月日	西暦年	4	数字	C	特別徴収対象者情報、または特別徴収追加候補者情報の該当項目の内容が設定される。	
		月	2	数字	C		
		日	2	数字	C		
12	性別		1	数字	C		
13	氏名	カナ	25	カナ	C		
14		シフトコード	3	記号	X		
15		漢字	25	漢字	X		
16		シフトコード	3	記号	X		
17	住所	郵便番号	7	数字	C		
18		カナ	80	カナ	C		
19		シフトコード	3	記号	X		
20		漢字	80	漢字	X		
21		シフトコード	3	記号	X		